

クローズアップ 農家



国の根本である 農業を守る Vol. 6

能代市久喜沢

工藤

寿さん(50)

J Aあきた白神みょうが部会長（部会員241人）として、管内みょうがの栽培技術向上・栽培農家拡大に努めている、工藤寿さん。『白神みょうが』は、秋田が誇るブランドとして、全国に知られています。しかし昨年は、猛暑や豪雨、根茎腐敗病などが大発生し、収量は平年の半分となりました。

「昨年の教訓を糧に、今年はJAの指導の下、早期の薬剤散布や適宜散布を心掛けるなど、病害虫の防除を徹底しました。その際も、能代市からの補助金により、農家に過重な負担が掛からなかったことが、大きいですね。」と工藤さん。生産者・JA・行政が手を取り合っ

▼生産者の努力が実った瞬間



▼『白神』が誇る良質のみょうが



て、みょうが栽培に取り組んだ結果、今年は昨年の約1.5倍の収量が見込まれています。「今年も干ばつなどで、収穫時期が遅れるなど、天候に左右されましたが、これからも地域一体となって、旬の食材である、『白神みょうが』を消費者の方々に提供していきたいと思っています。」と、意気込みを語ってくれました。

経営規模

・みょうが	30	a
・水稲	10	ha
・アスパラガス	1.5	ha
・ねぎ	1	ha